

平成19年度 クラミジア抗体検査のまとめ

近年、特に若年者の中でAIDSやクラミジアなどの性感染症が増加しており、その予防啓発の一環として平成13年度よりHIV検査と合わせてクラミジア・トラコマチス抗体について無料匿名検査を実施しています。平成19年度は7か所の福祉保健センターとAIDS市民活動センターで週1回行っている夜間健診、結核予防会で行っている土曜健診の計9か所で採取された血清を試料とし、ペプタイドクラミジアIgA及びIgG(明治乳業製)を用いて検査を実施しました。

平成16年度から平成19年度までのクラミジア抗体検査受診者数と陽性者数、陽性率を表1に示しました。平成17年度はHIV即日検査の導入に伴い、結果が出るまでに1週間かかるクラミジア検査は受診者が減少したと考えられます。しかし、その後福祉保健センターでの受診者増加がみられ、平成19年度は過去最高の受診者がありました。

表1 平成16年度～平成19年度の受診者数と陽性者数と陽性率

年度	受診者数(人)	陽性者数(人)*	陽性率(%)
平成16年度	2140	595	27.8
平成17年度	1689	501	29.7
平成18年度	2117	713	33.7
平成19年度	2411	756	31.4
計	8357	2565	30.7

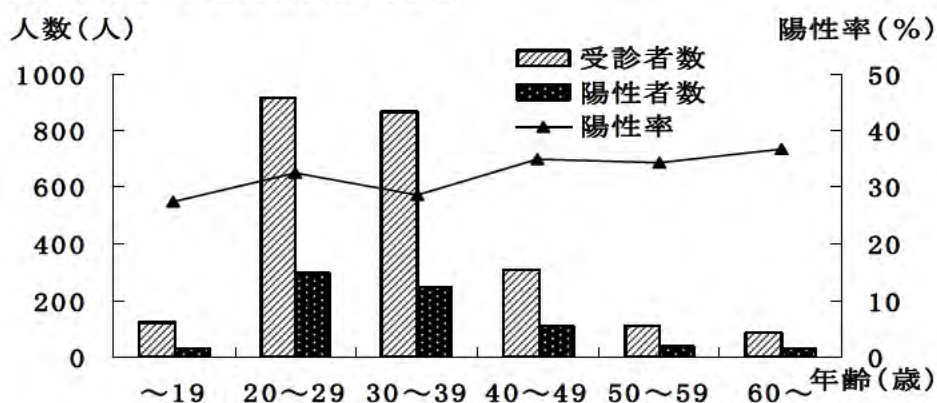
* IgA、IgGいずれかが(±)以上のものを陽性とした

平成19年度の男女別受診者数、陽性者数と陽性率を示しました(表2)。受診者数は男性が女性の約2倍と多いですが、陽性率は女性のほうが高い傾向にありました。

表2 平成19年度 男女別受診者数、陽性者数と陽性率

	受診者数(人)	陽性者数(人)	陽性率(%)
男性	1531	391	25.5
女性	879	365	41.5
不明	1	0	0
合計	2411	756	31.4

平成19年度の年代別受診者数と陽性者数及び陽性率について以下の図に示しました。20歳代、30歳代の受診者が多く、陽性率は各年代とも30%前後でした。



平成19年度年代別受診者数と陽性者数、陽性率

【 細菌担当 】